

# 予算決算委員会総務文教分科会記録

[第2日目]

1 日 時 令和7年3月18日(火曜日)

開 会	午前 9時58分
休 憩	午前10時01分
再 開	午前10時04分
休 憩	午前10時07分
再 開	午前10時10分
休 憩	午前10時14分
再 開	午前10時22分
休 憩	午前11時41分
再 開	午後 1時07分
休 憩	午後 1時35分
再 開	午後 1時38分
休 憩	午後 2時23分
再 開	午後 3時00分
閉 会	午後 3時21分

2 場 所 第 1 委 員 会 室

3 出席委員 7人

分科会長	松 井 邦 人
分科会副会長	松 井 桂 将
委 員	金 岡 貴 裕
//	飯 山 勝 彦
//	泉 英 之

委員 鋪田博紀  
// 赤星ゆかり

4 欠席委員 1人

委員 東 篤

5 地方自治法第105条の規定により出席した者

議長 横野 昭

## 6 説明のために出席した者

### 【議会事務局】

事務局長	中村 敏之
事務局次長	高田 まどか
参事（庶務課長）	澤野 重雄
議事調査課長	鳥取 則子
庶務課主幹	中山 崇

### 【監査委員事務局】

事務局長	杉本 周児
参事（事務局次長）	平井 聖子

### 【選挙管理委員会事務局】

事務局長	片山 建
参事（事務局次長）	桜井 光王

## 【企画管理部】

部長	清水 裕樹
法務指導監	福島 武司
理事（ガラス美術館長）	土田 ルリ子
部次長	大野 満
部次長（行政改革・公共施設再編・人事管理担当）	森川 知俊
情報企画監	小倉 康男
参事（婦中ふれあい館長）	小善 誠
企画調整課長	山口 雅之
行政経営課長	山口 敬
文書法務課長	東福 光晴
職員課長	竹内 孝
秘書課長	植野 聡希
広報課長	中田 至彦
情報システム課長	中川 哲也
文化国際課長	水原 秀樹
スマートシティ推進課長	堀 友彰
ガラス美術館次長	開澤 聡
職員研修所長	舩田 恵美
公文書館長	木下 満
富山外国語専門学校事務長	前坪 勝児
富山ガラス造形研究所事務長	石黒 隆司
企画調整課主幹（調整担当）	松本 浩明

## 【防災危機管理部】

部長	鎌田 泰史
部次長	増山 和弘
部次長（生活安全交通・防災危機管理担当）	浅野 丈晴
参事（防災対策担当）	生田 朋道
参事（防災危機管理課長）	小川 徹雄
生活安全交通課長	廣瀬 康之
防災危機管理課主幹（調整担当）	児島 誠
防災危機管理課主幹	経塚 陽子
生活安全交通課主幹	柴野 栄樹

## 【教育委員会】

事務局長	関谷 雄一
事務局次長（総務・社会教育・学校教育担当）	高橋 洋
図書館長	長 康博
科学博物館長	浦田 純一
民俗民芸村管理センター村長	若木 佳之
参事（学校再編推進課長）	山崎 悟
参事（学校保健課長）	由水 正恵
参事（郷土博物館長）	坂森 幹浩
教育総務課長	青山 哲也
学校施設課長	高瀬 雅基
学校教育課長	河原 弘幸
生涯学習課長	加藤 孝一
教育行政センター所長	横越 純
埋蔵文化財センター所長	堀沢 祐一
教育センター所長	荒瀬 誠
市民学習センター次長	寺島 優子
教育総務課主幹（調整担当）	船木 寛人

## 【財務部】

部長	刑部 博規
部次長	石金 俊介
部次長（税務担当）	笠間 信行
参事（資産活用担当）	島崎 幸仁
参事（工事検査課長）	高田 秀昭
参事（資産税課長）	丸本 昌
財政課長	中山 武史
管財課長	高道 伸治
契約課長	本多 寛明
納税課長	瀬川 智行
市民税課長	大島 聡
債権管理対策課長	川崎 隆人
財政課主幹（調整担当）	山本 哲弘

## 【出納課】

会計管理者	森 俊彦
参事（出納課長）	高橋 祐子

## 7 職務のために出席した者

### 【議会事務局】

議事調査課長	鳥取 則子
議事調査課議事係長	土方 智樹
議事調査課主査	中村 千里
議事調査課主任	杉林 睦美

## 8 会議の概要

分科会長 ただいまから、予算決算委員会総務文教分科会を開きます。  
なお、本日は地方自治法第105条の規定に基づき、横野議長が出席されています。  
また、東委員から都合により欠席するとの連絡がありましたので、御報告いたします。  
これより、議会事務局所管分の議案の審査を行います。  
議案第1号 令和7年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算中、歳出第1款議会費を議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

議会事務局長 〔挨拶〕

議会事務局次長 〔令和7年度予算に関する説明書により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第1号中議会事務局所管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。  
以上、総務文教分科会議会事務局所管分を終了いたします。

午前10時01分 休憩

~~~~~

午前10時04分 再開

分科会長 これより、総務文教分科会監査委員事務局所管分の議案の審査を行います。  
議案第1号 令和7年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算、歳出第2款総務費中、監査委員事務局所管分  
を議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

監査委員事務局長 〔挨拶〕

監査委員事務局次長 〔令和7年度予算に関する説明書により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第1号中監査委員事務局所管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。  
以上で、総務文教分科会監査委員事務局所管分を終了いたします。

午前10時07分 休憩

~~~~~

午前10時10分 再開

分科会長 これより、総務文教分科会選挙管理委員会事務局所管分の議案の審査を行います。  
議案第1号 令和7年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算、歳出第2款総務費中、選挙管理委員会事務局所管分

を議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

選挙管理委員会  
事務局長 〔挨拶〕

選挙管理委員会  
事務局次長 〔議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結  
いたします。  
これより、議案第1号中選挙管理委員会事務局所管  
分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。  
以上で、総務文教分科会選挙管理委員会事務局所管  
分を終了いたします。

午前10時14分 休憩

~~~~~

午前10時22分 再開

分科会長 これより、総務文教分科会企画管理部所管分の議案  
の審査を行います。  
議案第1号 令和7年度富山市一般会計予算、第1  
条歳入歳出予算、歳出第2款総務費中、企画管理部  
所管分、第2条継続費中、第2款総務費、第3条債  
務負担行為中、企画管理部所管分  
を議題といたします。

これより、順次、当局の説明を求めます。

企画管理部長 〔挨拶〕

職員課長 〔議案第1号中  
職員採用強化事業について、  
議案説明資料により説明〕

企画調整課長 〔議案第1号中  
合併20周年記念事業について、  
総合計画策定等事業について、  
移住促進事業について、  
企業版ふるさと納税促進事業について、  
議案説明資料により説明〕

広報課長 〔議案第1号中  
選ばれるまちづくり事業について、  
議案説明資料により説明〕

行政経営課長 〔議案第1号中  
学校跡地等活用事業について、  
議案説明資料により説明〕

スマートシティ  
推進課長 〔議案第1号中  
スマートシティ推進プロジェクト創出事業について、  
デジタルデバイド対策推進事業について、  
議案説明資料により説明〕

文化国際課長 〔議案第1号中  
TOYAMA GLASS魅力向上事業について、  
TOYAMAから世界への舞台芸術発信事業について、  
芸術文化ホール保全事業について、  
議案説明資料により説明〕

情報システム課長 〔議案第1号中  
自治体DX推進事業について、  
議案説明資料により説明〕

富山外国語専門 〔議案第1号中  
学校事務長 富山外国語専門学校創立40周年記念事業について、  
議案説明資料により説明〕

ガラス美術館次長 〔議案第1号中  
展覧会開催事業について、  
ガラス美術館開館10周年記念事業について、  
議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。  
議案説明資料の順に進めたいと思います。  
まず、議案説明資料1ページについて質疑はありませんか。

赤星委員 令和6年度当初予算と比べ、令和7年度当初予算（  
案）の増減率が124.6%となっておりますが、  
増額となった主な理由について御説明をお願いします。

企画管理部次長 まず、項1の総務管理費におきましては、人件費の  
増によるものでございます。  
項2の企画費におきましては、オーバード・ホールの  
改修が始まりますので、それが一番大きなもので  
ございます。

分科会長 次に、議案説明資料2ページについて質疑はありま  
せんか。

金岡委員 (3)アの職員採用PR動画の制作について、今年  
の3月下旬に動画を公開し、来年度にまた新しい動  
画を公開する予定とのことですが、それぞれ  
どのような職種のPR動画になるのか教えてください。

職員課長 昨年9月定例会で補正予算を計上させていただきました  
事業では、行政と土木、建築の3つの職種のP  
R動画を制作させていただいたところがございます。  
1つの職種について約3分程度にまとめた動画とな

っております。

また、来年度につきましては、今年度の職種とは別の2つの職種の分の予算を計上させていただいたところでございます。現時点では、他の職種に比べて募集人数が多い保育士のほか、社会人経験者対象の採用枠として、人口減少対策の取組にもつながるように転職や富山市への転入を検討しているところの方に向けたPR動画の制作を想定しているところでございます。

金岡委員 東京と大阪に新たに試験会場を設けられるということですが、これらの試験会場での採用試験は、今言われたようないろいろな職種を対象とするのか、それとも特定の職種のみなのか教えてください。

職員課長 東京、大阪で会場を設けることを想定しておりますのは、来年6月に実施予定の採用試験で、富山、東京、大阪、いずれの会場も試験日は同じ日を予定しております。その日に従事する職員や会場の確保あるいは費用、また、採用人数が募集人数に達していない職種などの観点から検討いたしまして、東京と大阪の会場で行う採用試験は、たくさんある職種の中でも、PR動画の件で申し上げた行政、土木、建築の3つの職種に絞って実施させていただきたいと考えております。

分科会長 次に、議案説明資料3ページについて質疑はありませんか。

飯山委員 合併20周年記念事業について、この記念式典はどれくらいの規模で開催されるのですか。

企画調整課長 出席者は、県内の首長、国、県、市の議員、自治振興会等の各種団体の長など、約400名を御招待することを想定しております。

飯山委員 (3)のイ、特別事業として4つの取組を実施されることですが、これらの事業の概要と2, 71

0万円の予算配分を教えてください。

- 企画調整課長 1つ目の施設を巡り歴史を知る「スタンプ&クイズラリー」は、この機会に本市の歴史を楽しく学んでいただくため、市の歴史を紹介する公共施設を巡っていただくものであり、事業費は600万円となっています。
- 2つ目のみんなの好きな今を集めた「フォトモザイクアート」は、市民から本市の好きなもの・ことなどの写真を募集し、それらを組み合わせて本市の代表的な風景などの作品を作成し、記念式典などで展示するもので、事業費は1,350万円となっています。
- 3つ目の子どもたちが本市ならではの本物に触れる「体験型講座」は、路面電車の運転士体験やし職人体験など、本市ならではの本物に触れることができる体験講座を実施するもので、事業費は650万円となっています。
- 4つ目のAMAZING TOYAMA「これまでの20年／これからの20年」は、市民から募集したこれまでの20年、これからの20年に対する思いをステッカーにして、城址公園と富山駅にあるAMAZING TOYAMAのモニュメントを装飾するもので、事業費は110万円となっております。

- 金岡委員 先ほど、記念式典をオーバード・ホール中ホールで実施するということはお聞きしました。記念式典の実施に1,542万円余りの予算を計上されていますが、この予算の詳細を教えてください。

- 企画調整課長 式典に係る主な予算ですが、まず、設営や撤去、運営補助、案内板、招待状の作成などの運營業務委託費で350万円余り、記念映像の製作費に130万円余り、記念誌作成に150万円余り、記念品の購入—こちらは富山ガラスの花器を想定していますが—に320万円余り、またパネルディスカッションを実施する予定にしておりますので、その参加者等への謝礼、費用弁償などで150万円余りとなって

おります。

分科会長 次に、議案説明資料4ページについて質疑はありませんか。

飯山委員 第3次富山市総合計画の策定に向けて市民意識調査を実施される予定とのことですが、市民意識調査の対象者は何歳以上となるのでしょうか。

企画調整課長 調査対象は満18歳以上の市民で、無作為に5,000人を抽出します。

飯山委員 満18歳以上ということは、高校生も対象となるのでしょうか。

企画調整課長 高校生は対象としておりませんが、高校生などの若年層の意見を取り入れて計画を策定することは有効だと考えておりますので、個別に意見聴取する機会を設けたいと思っております。

赤星委員 市民参加のワークショップを開催される予定となっておりますが、何回くらい、また、どれくらいの規模で開催される予定ですか。

企画調整課長 こちらは今、事業者選定を行っており、事業者から提案をいただく予定にしております。したがって、事業者が決まり次第、市の希望も事業者にお伝えしながら決定していきたいと思っております。

分科会長 次に、議案説明資料5ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員 令和6年度の予算額と比べるとボリュームとしては小さくなっているにもかかわらず拡充と書かれており、また、来年度から新たに実施する事業が幾つかあります。これは今年度の取組を踏まえて、より効果的に推進しようという狙いがあると思うのですが、

その辺について御説明いただけますか。

企画調整課長 本事業における大きな変更点として、来年度は、ターゲットを絞って戦略的な取組を推進することとしております。

結婚・出産などの人生の転機を意識する20代、30代の女性や、医療・福祉などの人材が不足している職種をターゲットとし、移住を単なる人口の社会増として捉えるのではなく、その後の出産や人材不足分野における担い手などにつながることを期待しております。

鋪田委員 (3)ウ、新規事業の移住者受入モデル地域支援事業についてお尋ねします。地域の意見も聞きながら、あらかじめ市でモデルとしたい地域を選定するという流れになっていくのでしょうか。

企画調整課長 この事業は、富山県の移住者受入モデル地域育成支援事業に呼応して実施するもので、県が移住者の受入れのモデル地区を選定し、その地区の活動に対して補助するものとなっています。

これまで、射水市の内川地区など県内で9地区がモデル認定を受けておりました、本市では今回、八尾地区が初の認定となりました。

実施主体は富山市八尾山田商工会で、通年観光の促進に加えて、二地域居住の推進など、交流人口の拡大を目指すものとなっております。来年度に事業計画を策定することになっており、その支援を行います。

鋪田委員 次に、エの移住者発掘・トータルサポート事業の内容に移住コンシェルジュという職種が書いてありますけれども、どのような方をお願いするのか、また、具体的な業務内容や支援内容について、もう少し詳しく教えてください。

企画調整課長 既に富山市に移住してきた先輩移住者に移住コンシェルジュになっていただくことを想定しております。

とりわけ、主に想定しているのは、30代女性の先輩移住者の方々に、LINE等で移住希望者と小まめに連絡を取り合い、いろいろな不安を解消するなど、先輩移住者が移住コンシェルジュとなってトータルサポートしていくことを狙いとしております。

鋪田委員 現在、移住人気ランキングで本市はどの程度のところに位置づけられているのでしょうか。

企画調整課長 本市を対象としたランキングはありませんが、地方移住を支援するNPO法人ふるさと回帰支援センターが公表した2024年ふるさと回帰支援センター窓口相談者が選んだ移住希望地ランキングによれば、群馬県がトップで、富山県は15位となっております。富山県は、前回の2023年、前々回の2022年はいずれも13位でしたので、2ランク下がった形になっております。

分科会長 次に、議案説明資料6ページについて質疑はありませんか。

金岡委員 予算額が結構大きいと思うのですが、この事業を実施することによってどれくらいの寄附を頂くことを見込んでいるのか、教えてください。

企画調整課長 1億円の寄附に対して上限の25%を乗じた2,500万円を成果として支払うことを想定して予算計上しており、今のところは1億円の寄附を見込んでいるということになります。

分科会長 次に、議案説明資料7ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員 拡充となっておりますが、予算総額としては前年度よりも若干減っています。これも何か事業の組替え等を行って成果をより高めるといふ狙いなのか、御説明をお願いいたします。

- 広報課長 前年度より予算額が減っているのは、令和6年度にディズニー・アニメーション・イマーシブ・エクスペリエンス開催支援事業を単年度事業として行ったことによります。今回、予算額としては減っておりますが、新規事業を盛り込み、より効果的に実施したいという意気込みも込めまして、拡充という位置づけで記載しております。
- 鋪田委員 (3) 主な事業内容のアの③「それって富山市!？」プロモーション事業について、もう少し詳しく御説明いただけますか。
- 広報課長 「それって富山市!？」プロモーション事業は令和6年度からの継続事業でございます。  
まず、令和6年度に、富山市に行ってみたい、住んでみたいと感じていただけるような本市の魅力を具体的に表現したイメージアップフレーズを一般公募し、コピーライターによる絞り込みを行った上で、インターネットによる人気投票を行い、県外在住者から評価の高かった15点を入賞作品として選定しました。  
さらに、特に評価の高かった4つのフレーズを用いて、今年2月に首都圏の19のJR主要駅でデジタルサイネージを使った2週間の広告掲載を実施したところであります。  
令和7年度につきましては、このイメージアップフレーズを用いた動画を4種類作成し、SNSやインターネット広告を活用しながら県外在住者向けに発信していきたいと考えております。
- 赤星委員 ①とやまイメージアップ事業について、ANAグループとのシティプロモーション連携協定の主な内容を教えてください。
- 広報課長 平成26年3月に結んだ連携協定の中で定めているプロモーションの概要としては、5つあります。  
1つ目に、地域ブランドの育成及び販路拡大に関すること、2つ目に、地域の観光資源を活用した観光

振興に関すること、3つ目に、地域情報の発信に関すること、4つ目に、シビックプライドの醸成に関すること、5つ目に、その他富山市の活性化支援に関することと定めており、連携して取り組んでまいりました。

赤星委員 この連携協定は、平成26年3月からいつまで有効なのですか。

広報課長 終期は設定されておられません。

鋪田委員 イ、シビックプライド醸成事業の②ライフスタイルBOOK制作事業について、目的や狙いについては先ほど簡単に御説明されましたが、今日び、学生向けということになるとデジタル媒体がメインになっていくと思うのです。あえて紙媒体で作り、それを配布していく狙いについて御説明いただけますか。

広報課長 委員御指摘のとおり、デジタル媒体での配信も1つの方法であるとは考えておりますが、まずは実際に手に取って、自宅等でじっくりかつ何度も御覧いただきたいということから、今回はアナログな冊子を配布するというスタイルで取り組みたいと考えました。

鋪田委員 配布方法をもう一度御説明いただけますか。

広報課長 配布方法ですが、学生の情報に関しては県から提供いただき、学生の実家に郵送する形を考えております。また、作った冊子と併せて、市長のメッセージカードや市内の企業合同説明会のチラシ、市の公式LINEのチラシなどもお送りしたいと考えております。

分科会長 次に、議案説明資料9ページについて質疑はありませんか。

金岡委員 (3)アの旧八人町小学校跡地の活用検討の事業費

について、金額的に整備費用も含まれていると思うのですが、どうしてこれほど費用がかかるのか教えていただけますか。

行政経営課長 事業費の内訳の主なものを申し上げますと、解体に係る設計で約1,000万円、新施設の基本設計で約2,000万円となっております。

分科会長 次に、議案説明資料10ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員 (3)アのスマートシティ推進プロジェクト創出事業補助金について、令和6年度に行った実証実験の実績等がございましたら、教えてください。

スマートシティ  
推進課長 今年度は3件の事業を補助採択しております。  
1つ目は、N i X J A P A N株式会社提案の事業で、道路清掃車に車載カメラを取り付けて、撮影した映像から道路の損傷をA I等で解析し、道路管理業務への効果を検証するものでございます。提案事業者からは、民間の協力事業者と共に、市道400キロメートル以上のデータを取得し、A Iによる効率的な異常検知の有効性を確認できたと報告されています。  
2つ目は、株式会社v i a - a t提案の事業で、店舗や施設にI Cタグを設置し、利用者がスマートフォンをタッチするだけで、施設の入退館管理から料金決済までを可能にするというシステムでございます。イベントでの入退管理、無人販売店での利用、キャンプ場での利用管理で実証を行いまして、利用者や管理者へのアンケートを通じて事業の検証を行いました。アンケートに寄せられた意見では、複数回の利用で利用者が利便性を感じるという声があった一方で、初回のアプリ登録でクレジットカード情報などを入力することに対して利用者のとまどいがあったという声もあり、実施事業者からは、初回のアプリ登録までの誘導の方法、運営側の負担軽減やデータ管理などの様々な課題や知見が得られたと伺

っております。

3つ目は、L O O V I C株式会社提案の事業で、G P Sの緯度経度の情報に音声データを組み合わせるナビアプリの開発でございます。ファミリーパークや富山県中央植物園において、職員が実際に録音した音声を聞きながら歩けるナビガイドを作りました。また、利用者にアンケートを実施し、フィードバックをいただきました。利用者からは、音声コンテンツについて、通り過ぎただけで情報が入手できるなど、肯定的な意見が聞かれた一方で、事業者からは施設スタッフの負担軽減やこのソリューションの収益モデル等に課題が見つかったと伺っております。この会社については、実証実験まではたどり着かなかったのですけれども、学生とシニアの交流の場を開催する学生団体や病院などにニーズ調査を実施しまして、幅広い展開の可能性を検討したと伺っております。

鋪田委員

今ほど、実証実験まで至らなかったケースも御紹介いただいたのですけれども、スタートアップしやすい地域だという雰囲気をつくっていくことや、必ずしも実証実験あるいはその先まで行かなくても、どんどんアイデアが出せる環境は非常に大事だと思います。本事業はそのような観点を考慮しながら進めていく必要があると思うのですが、どのようにお考えですか。

スマートシティ  
推進課長

本事業については、まずはスマートシティ関連サービスの創出という目的があるのですけれども、多くの企業、とりわけスタートアップ企業にスマートシティ推進プラットフォームへの参画を促すことも目的の1つでございます。このような機会を利用して、富山市に会社を持ってもらい、フィールドを活用していろいろなことに取り組んでもらうことを想定して事業を行っていきたいと思っています。

分科会長

次に、議案説明資料11ページについて質疑はありませんか。

飯山委員 デジタルデバイド対策推進事業について、自分もどちらかというところだとデジタル弱者に入ってしまうのですが、スマホを持って駅周辺を散歩するというのは、具体的にどのようなことをするのかお聞かせください。

スマートシティ推進課長 スマホをもっと使いこなしたいと考えている高齢者の方を対象にした、おでかけスマホセミナーを実施します。

今年度は10月から11月にかけて、iPhoneとAndroid、それぞれ5回ずつ開催しました。具体の講座内容につきまして、今年度開催したものは、まずSketch Labでカメラや地図アプリ、LINEなどの使い方を学んだ後、駅周辺で実際にカメラを使いまして、最後にオーバード・ホール中ホール等で学んだことのおさらいをし、フィッシング詐欺やスマホにまつわる犯罪から身を守る方法—これは警察から講師の方を呼び、講義していただいております—などを3時間半かけて学ぶものでございまして、座学だけではなく、まちに出て楽しみながら体験するセミナーを一体的に提供するということを実施しております。

飯山委員 どれくらい人気があるのですか。

スマートシティ推進課長 おでかけスマホセミナーの参加人数は、今年度は1回当たり10名、計100名程度を想定しておりました。96名の参加申込みがあったのですが、参加決定後のキャンセルなどがあり、実際の参加人数は78名でございました。

金岡委員 質問というかお願いに近いかもしれないのですが、今、市で電子回覧板導入支援事業を実施しておられますけれども、高齢者の方から使い方がなかなか分からないという声を結構聞くので、このスマホセミナーで結ネットの使い方講座も同時に実施したらどうかと思います。いかがでしょうか。

スマートシティ  
推進課長 今年度、地域生活拠点スマホセミナーというものを大山会館、岩瀬公民館、山田公民館、細入公民館、富南会館の5か所で実施しました。この地域生活拠点スマホセミナーは、基本から学ぶ5回連続講座でございまして、その5回の中の1回は、市が提供するスマホサービス、例えば富山市公式LINE、フレイル予防動画の紹介、とほ活についての説明に加え、5か所全ての地域におきまして電子回覧板として利用が多い結ネットについても、基本的な機能を中心に、このようなことができるという使い方の説明もしております、令和7年度に実施するセミナーにおいても紹介できればと思っております。

分科会長 次に、議案説明資料12ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料13ページについて質疑はありませんか。

飯山委員 (3)アの大阪・関西万博のイベントステージについて、富山のイベントステージはいつ頃披露されるのでしょうか。

文化国際課長 今回のイベントステージは、世界的ダンサーでありますケント・モリ氏の企画により開催されるものであります。  
万博で披露する日程でございしますが、令和7年9月26日(金曜日)から28日(日曜日)までの3日間のうちいずれかの日で、万博会場内にある1万6,000人収容可能な屋内ステージ、エキスポアリーナを会場として披露される予定です。

飯山委員 万博でのイベントステージが終わった後に、富山市民に向けて御披露されるのですか。

文化国際課長 そのとおりです。

飯山委員 富山市民に向けて披露した後に万博のイベントステージで披露したほうが、富山のイベントステージにたくさんの方に来ていただけたらと思ったのですけれども、これは予定的にどうしても無理だったのですか。

文化国際課長 今回のイベントステージはケント・モリ氏の企画により開催されるもので、日程につきましては、その期間がマストということで決定されており、なかなか難しいものと考えております。

赤星委員 すみません、議案説明資料12ページについての質疑になるのですが、富山ガラス工場の館長を新たに外部より招聘するということですが、現在の館長が退任されるということですか。

文化国際課長 現在、ガラス造形研究所の教授をしておられます本郷先生に工場の館長を務めていただいております。このたび新たに外部より招聘する方に館長になっていただくので、退任ということになるかと思えます。

赤星委員 ガラス工場館長の待遇について、報酬600万円、費用弁償212万3,000円とありますが、この根拠と申しますか、この金額はどのようにお決めになったのですか。

文化国際課長 報酬の根拠ですが、県内の公立・私立大学の教授、准教授、また高度な知識・技能を有する講師謝礼の単価を準用させていただいておまして、その時間単価が1万2,000円から1万5,000円となっております。1万5,000円掛ける半日分の4.5時間掛ける8日間で、大体月額50万円と設定したところでございます。

- 赤星委員 半日分の4.5時間掛ける8日間ということですので、常駐一富山市に移住していただくのではなくて、仕事をされるときだけ富山市に来られるという形ですか。
- 文化国際課長 赤星委員がおっしゃったとおりで、そのための費用弁償も今回予算計上させていただいているところでございます。
- 赤星委員 館長になっていただく方はもう決まっているのでしょうか。
- 文化国際課長 現時点でお答えすることはできませんが、現在、候補者の方と交渉中でございます。決まり次第、皆様には改めてお知らせしたいと考えております。
- 分科会長 次に、議案説明資料14ページについて質疑はありませんか。
- 鋪田委員 オーバード・ホール大ホールの改修について、特定天井の改修に併せて、そのときにしかできない改修を実施していきたいということは当初からずっと御説明いただいていたのですけれども、もう少し具体的にどのような改修内容なのか、また、予算配分も分かればお答えいただけますか。
- 文化国際課長 まず特定天井改修は12億1,000万円になります。こちらはホール及びホワイエ等の天井裏のつり金物が最新の耐震基準に適合するよう工事を施すものでございます。
- 次に、大規模改修73億4,000万円のうち、舞台機構改修では33億1,000万円を見込んでおり、こちらは3面半の床機構の舞台装置の駆動部と、制御装置を更新することとしております。また、舞台照明改修では5億円を見込んでおり、こちらは照明器具やケーブル配線の更新を行い、省エネ性能と演出効果の向上を図ることとしております。
- 次に、舞台音響改修では12億7,000万円を見

込んでおり、音響調整卓やホール内各所に設置されておりますスピーカー類を最新の設備に更新して、音質の向上を図ることとしております。

さらに、客席改修では8億5,000万円を見込んでおり、特定天井改修の工事のためホール内全面に足場を設置することから、客席2,196席全てを一新することとしております。

客席につきましては、座面の厚さを現行のものよりコンパクトな仕様のもに刷新することで、特に足元の部分の間隔を広げて、通行の際の利便性はもとより、座り心地といった快適性についても向上を図ることとしております。

また、設備改修では9億5,000万円を見込んでおり、エレベーターや中央監視装置を更新する予定としております。

そのほかにも、舞台床の張り替え、1階のアスネットカウンター前にあるインフォメーションコーナーの改修も予定しており、ホールをメインとして施設全体の機能向上を図ることとしております。

鋪田委員

ありがとうございます。

客席の間隔について、実は全国の劇場と比べて狭かったわけではなく、多分座面の高さなどの関係でせり出していたために、ちょっと狭く感じただけだと思うのです。

座面の厚さについての御説明があったのですが、高さについては今、何かアイデアなどはございますでしょうか。

文化国際課長

座面の高さや厚みについて、現行のものや更新するものの差は今は分からないのですけれども、問題となっておりました足元の空間につきましては、1階、2階の座席は約15センチメートル、3階、4階の座席は約12センチメートル、5階の座席は6センチメートルから7センチメートルほど間隔が広がるものと聞いております。

分科会長

次に、議案説明資料15ページ、16ページについ

て質疑はありませんか。

赤星委員 (2) 事業目的にBPRやICT機器の活用などにより業務効率化を図ると書かれているのですけれども、これは職員の利便性向上を目指したものでしょうか。また、利用する市民にも恩恵があるのでしょうか。

情報システム課長 職員を対象として業務を効率化することで、少ない人数で業務をこなすことができるようになり、これから人口減少が加速していく中で、これまでどおりの行政サービスを維持していくことを意図したものでございます。

赤星委員 これは全ての業務に関わることなのでしょうか。

情報システム課長 これによって全ての業務に影響していくものと考えております。

赤星委員 今ちょっと気になりますのは、少ない職員数でとおっしゃったのですけれども、この事業に合わせて、さらに職員数の削減などを考えておられるということでしょうか。

企画管理部長 今、職員数の削減までは考えておりません。ただ、昨今の職員採用状況や会計年度任用職員の増加などを考えますと、やはり市役所内部のDX化を進めて、少ない人的資源でいかに行政サービスを維持していくのかを考えなければならないということで、今回こういった事業に取り組んでいこうと思っている次第でございます。

赤星委員 これを利用する市民にとって利便性が高まるように展開させることは考えておられないのでしょうか。

情報システム課長 議案説明資料16ページになりますが、電子申請サービスの導入など、行政手続をオンライン化することで、市民の方にとっても、市の職員にとっても、

省力化が図られるという形を目指しております。

赤星委員 ぜひ簡略化してほしい例を1つ紹介したいのですが、  
けれども、障害者手帳を申請するときに証明写真が必要で、  
自宅のプリンターでプリントした紙の写真を窓口を持っていったところ、  
これでは受付できませんので、ちゃんと写真屋へ行って、証明写真一刻印  
できる分厚いものをもって来てくださいますと言われました。  
写真屋に行ってプリントすると550円か幾らか必要になります。  
特に障害者の方や御家族にとって手間にもなり、費用もかかることこそ、  
ぜひこういった技術を使って簡略化してほしいと思うのですが、  
そういったことは可能になるのでしょうか。

情報システム課長 おっしゃるとおりで、障害者の方や平日の日中働いて  
いる方などもおられますので、市役所に来なくてもいろいろな  
手続ができるようになることを目指して、DXを推進しております。

分科会長 次に、議案説明資料17ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料18ページ、19ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料20ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

文化国際課長 先ほど鋪田委員が御質問されたオーバード・ホールの  
客席の座面の高さについて補足します。既存の椅子は座面の高さが420  
ミリメートルなのですけれ

ども、新たに設置するものについては425ミリメートルということで、座面が5ミリメートル上がることとなります。

分科会長 議案説明資料以外で、何か質疑はありませんか。

赤星委員 令和7年度予算に関する説明書56ページ目8、ガラス美術館費について、新年度の予算額が6億2,111万4,000円で、前年度と比べまして242万9,000円の増となっているのですけれども、増額の主な内容について教えていただけますか。

ガラス美術館次長 増額の主な要因としまして、管理運営事務費では、ガラス美術館が設立から10年を迎えようとしている中で、経年劣化による不具合なども目立ち始めておりまして、空調や照明器具の更新に必要な経費を予算計上しております。

赤星委員 何をお聞きしたかったのかといいますと、先日、補正予算について審議したときに、作品パネルのLEDの不具合が3年ぐらい前から分かっていたのに修理されなかったとお聞きして、管理運営事務費が十分足りているのだろうかと思ったのです。LEDのほかにも、ここを直したいけれども予算が足りないといったところはないのでしょうか。

ガラス美術館次長 ガラス美術館の運営が円滑に行われるよう、現時点で必要な経費を当初予算に計上させていただいております。

赤星委員 それはよかったです。  
毎年お聞きしておりますが、アヴィレを運営しているシクロシティ株式会社の広告パネルへの掲出に係る支出については、新年度は幾らになりますか。

ガラス美術館次長 まちなか広告パネル4基に係る広告掲出費用として、1,062万円を計上しております。

- 赤星委員 展示の内容について変更などはありませんか。
- ガラス美術館次長 シクロシティ株式会社の広告パネルにつきましては、来年度の展示の入替えは現時点で予定しておりません。
- 赤星委員 続けてシクロシティ株式会社への令和7年度の支出額についてお聞きしますけれども、広報課分は幾らになりますか。
- 広報課長 令和7年度予算に関する説明書53ページの款2総務費、項2企画費、目2企画調査費の中にある企画事務費のうち966万9,000円が広告料として含まれております。
- 赤星委員 これは何か所で何日間の広告掲出に係る費用ですか。
- 広報課長 4か所で通年の掲出でございます。
- 分科会長 ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第1号中企画管理部所管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。
- 赤星委員 議案第1号 令和7年度富山市一般会計予算の中で、今、質問いたしましたシクロシティ株式会社に支払う広告掲出代に反対の意見を表明します。  
シクロシティ株式会社に支払う広告掲出に係る費用について、自転車市民共同利用システム「アヴィレ」の運営費用を補填する目的で、年間基本金額2,100万円を業務の対価として支払う契約が交わされています。  
この契約に縛られてガラス美術館と広報課から、それぞれ4か所分の広告掲出で年間1,000万円以上が支出されていることは大変不可解です。  
この契約は令和21年まで続きますが、収支状況も確認できないフランス資本の企業と独占的に契約を

交わしている状態も異常だと感じます。また、市民文化事業団からも毎年1,300万円以上の支出がされています。この予算をほかの事業に有効活用すべきであり、この点について反対の意見を表明いたします。

鋪田委員 ただいまのシクロシティ株式会社への広告掲出代支出の件であります。当該広告については、それぞれが効果的な掲出場所であり、年間を通じて市の様々な取組が市民の方々に周知されています。年間を通して時期に応じた広告をターゲットに合わせて適切に掲出されており、また、既に富山市のまちの景観の一部になっていることから、妥当な予算であると考えます。

分科会長 これをもって、意見の表明を終結いたします。以上で、総務文教分科会企画管理部所管分を終了いたします。

午前 11時41分 休憩

~~~~~

午後 1時07分 再開

分科会長 これより、総務文教分科会防災危機管理部所管分の議案の審査を行います。  
議案第1号 令和7年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算、歳出第2款総務費中、防災危機管理部所管分  
を議題といたします。  
これより、順次、当局の説明を求めます。

防災危機管理部長 〔挨拶〕

防災危機管理部次長 〔防災危機管理部所管分の概要について、議案説明資料により説明〕

防災危機管理課長 〔議案第1号中

自主防災組織育成事業について、  
防災拠点機能充実強化事業について、  
要配慮者対応資機材整備事業について、  
避難所解錠設備整備事業について、  
議案説明資料により説明]

生活安全交通課長 [議案第1号中  
安全なまちづくり推進事業について、  
犯罪被害者等支援事業について、  
交通安全啓発事業について、  
議案説明資料により説明]

分科会長 これより、質疑に入ります。  
議案説明資料の順に進めたいと思います。  
まず、議案説明資料1ページについて質疑はありませんか。

[発言する者なし]

分科会長 次に、議案説明資料2ページについて質疑はありませんか。

泉委員 自主防災組織育成事業について、昨年1年間で自主防災組織がどのくらい結成されたのかお教えいただけますか。データがすぐに出なかったら後からでも結構です。

防災危機管理課長 昨年1年間の結成数については把握していないのですが、自治振興会ベースでは、全79自治振興会のうち、現在32自治振興会で自主防災組織が結成されております。  
町内会につきましては、令和7年2月末現在で1,417の町内会があるうち、689町内会で自主防災組織を結成されております。  
また、令和6年能登半島地震を受けまして、昨年度の倍ぐらいのペースで結成されているということは把握しております。

泉委員

自主防災組織を新たに結成してもらうという目的の事業だということはよく分かるのです。

ただ、自主防災組織を結成しても、何ら会合も開かれていないところもあります。

例えば、令和6年能登半島地震のときに、津波警報が出て、標高200メートルもあるような大山地域まで逃げてくる方も大勢おられました。一方、ある地域では津波の被害はないけれども、土砂災害の危険があるからここへ逃げようなどといって、災害が起きたときの避難場所を自分たちで決めるための話合いの仕組みができている団体があるのをテレビで観ました。

私が住んでいる地域だと小見小学校に避難するのですが、小見小学校に避難するまでの間に、土砂災害の危険がある地域を何か所も通らないと駄目なのです。これは逆に命の危険にさらされる可能性があります。

地震、火災、河川の氾濫、山間部では土砂災害と、大きく分けて4つの災害があり、それぞれの地区ごとに避難の仕方が異なると思いますので、自分たちの地域の避難所をどこにするのか決めるためのワークショップなどを開けるよう、自主防災組織に対して補助するための予算をつけていただきたいと思うのが私の意見なのですが、見解をお願いします。

防災危機管理課長

先ほど、79ある自治振興会のうち32の自治振興会で自主防災組織が結成されていると申し上げましたが、その32の組織のうち17組織が地区防災計画を策定しております。

自主防災組織の結成の次の段階が地区防災計画の策定でございますので、なるべく早く個々の地域ごとの災害リスクを踏まえた地区防災計画を策定するように働きかけてまいりたいと思っております。

議案説明資料2ページ(3)ウの防災研修・啓発業務委託につきましては、富山県防災士会に委託するものですが、地区防災計画策定の支援やワークショップの開催も業務委託の中に含まれておりますので、これも改めて周知していきたいと思っております。

分科会長 このページでほかに質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料3ページについて質疑はありませんか。

赤星委員 (3)アの備蓄食料及び飲料水整備について、これで何人分の何日分が備蓄されることになるのでしょうか。

防災危機管理課長 まず、飲料水と食料につきましては備蓄計画の100%を達成しております。今回購入するものは、賞味期限が切れたものの補充になります。何人分かというお話ですけれども、まず、呉羽山断層帯地震が起きた場合の発災4日後の避難所への避難者数を12万8,000人余りと想定しており、そのうち25%に当たる3万2,000人余りを、建物が全壊して非常食を持ち出すことができない人数として算定しております。その3万2,000人余りに対して、県と富山市が流通備蓄などで支援することになるのですけれども、そのうち40%に当たる約1万2,900人の3日分を備蓄しております。

赤星委員 備蓄食料はビスコ、レトルトパン、クラッカーと、いずれも小麦粉を使った製品です。お湯や水で戻してすぐ食べられるアルファ化米などのおコメの備蓄はないのでしょうか。

防災危機管理課長 クラッカー、ビスケット、レトルトパンのほか、レトルト御飯を備蓄しております。

赤星委員 レトルト御飯は、お湯や水で戻して食べるものですか。

防災危機管理課長 そうです。

赤星委員 小麦アレルギーの方や飲み込む力が弱いお年寄りの方もいらっしゃると思うのですが、どのような割合でしょうか。

防災危機管理課長 数字が細くなるのですけれども、食数で申し上げますと、クラッカー、ビスケットは6万9,660食、レトルト御飯は2万3,220食、レトルトパンは同じく2万3,220食を目標数としております。

赤星委員 今、目標数とおっしゃいましたが、さきほど備蓄計画の100%を達成しているとおっしゃったと思うのです。今の答えはどのような意味でしょうか。

防災危機管理課長 現在の備蓄数にはちょっと偏りがございまして、クラッカー、ビスケットで5万食、レトルト御飯で5万4,000食、レトルトパンで1万4,700食を備蓄しているのですけれども、賞味期限の関係などもありまして、年度ごとに若干割合が異なってきます。大体均等な割合になるように、クラッカー、ビスケットを約半分、残り半分をレトルト御飯とレトルトパンで補うことを計画しております。

赤星委員 避難所の環境改善ということで、温かい食事を一刻も早く提供することが大事だと思うのですけれども、この備蓄とともに、避難所に温かい食事が届くのはいつぐらいになるという想定なのですか。発災後4日目以降なのでしょうか。

防災危機管理課長 具体的に何日後かということはお答えできないのですけれども、毎年、日本赤十字社の皆さんが炊き出しの訓練を総合防災訓練に併せて実施しておられ、それほど時間はかからずに用意ができると思っております。

赤星委員 東日本大震災のときに、避難所にコンビニのおにぎりが届いたと。それで、たまたまそこにいらっしゃった栄養士の方が、学校の鍋やコンロなどの調理器

具を使い、冷え切ったおにぎりを全部雑炊にして、のりを散らして皆さんに提供したら、皆さん本当に喜ばれたという話を聞いたのです。

なので、もうちょっとおコメなどの備蓄を増やしたほうが、そういった工夫もできるのではないかと思いますので、今後検討していただければと思います。

分科会長 このページでほかに質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料4ページについて質疑はありませんか。

金岡委員 要配慮者対応資機材整備事業について、これは多分第1次避難所を想定されていると思うのですが、要配慮者の福祉避難所への避難については、現状では考えられないのか確認させてください。

防災危機管理課長 要配慮者は、最初に第1次避難所に行っていた段取りになっておりますが、福祉避難所が被災しておらず受入れの体制ができていれば、場合によっては福祉避難所へ移送することになっております。

金岡委員 たしか2年前に線状降水帯が発生したときに、避難指示が出ている地域の方が体調的に第1次避難所に行けないから、福祉避難所に行きたかったのだけれども、受け入れる体制が整っていなかったので行けなかったという話があったことを以前、一般質問のときにさせていただいたと思います。第1次避難所ではなく、福祉避難所への直接避難について国も指針を出しているのですから、そういった取組を進めていかなければいけないと思っていますのですが、今現状、市としては第1次避難所で1回段階を追ってから移送するものと考えているのでしょうか。

防災危機管理課長 例えば、要配慮者の方が個別避難計画を既に作成されていて、日頃からお付き合いのある福祉避難所と

双方で約束がされていれば、直接福祉避難所に行っていたいただいても構わないと思います。

しかし、現状、富山市には61か所の福祉避難所があって、その61か所で収容できる人数は最大で600人余りだと思っております、やはり一遍に直接避難されても対応できないものですから、福祉避難所を制度化するのはなかなか難しいと考えております。

金岡委員 多分、今ほど言われた個別避難計画作成そのものが進んでいないのだとは思うのですが、中にはどうしても第1次避難所には行けないというケースも出てくるので、そういったことへの対応も個別避難計画の作成と同時に進めていてもらいたいと思います。  
これはお願いです。

分科会長 次に、議案説明資料5ページについて質疑はありますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料6ページについて質疑はありますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料7ページについて質疑はありますか。

飯山委員 犯罪被害者等支援事業について、今までこの支援が利用された実績はどれくらいあるのですか。

生活安全交通課長 2つ制度がございまして、まず、(3)アの入学奨学資金及び学費奨学資金につきましては、平成31年1月に開始しておりますが、これまで実績はございません。  
ただし、万が一、対象の方がいらっしゃった場合に

は、そのお子さんをしっかりと応援できるように引き続き備えてまいりたいと考えております。

次に、イ、遺族支援金及び重傷病者支援金につきましては、令和2年10月に開始しております。

これまで、令和3年度に遺族支援金を1件、そして令和4年度と令和5年度に重傷病者支援金をそれぞれ1件ずつ支給しております。

今年度につきましては、相談は複数ございましたけれども、申請に至っているケースはございません。

金岡委員

この制度の対象となるのは、被害に遭ったときに富山市に在住していた方だけなのですか。例えば市外で被害に遭い、富山市に逃げてこられた後、富山市に在住する方は対象にはならないということでしょうか。対象となる条件について教えてください。

生活安全交通課長

まず、アの入学奨学資金及び学費奨学資金については、進学される御本人と生計同一の世帯全員が、申請時、つまり進学時に富山市に住民票を置いていらっしゃる必要があります。ですから、例えば小さいときにお父さんが亡くなられた場合などでも支援しております。

イの遺族支援金及び重傷病者支援金につきましては、申請時に富山市に住所があることが要件となります。ただ、遺族支援金は御遺族のうちお一人のみに支給する制度ですが、犯罪被害に遭われた後に富山市に転入してくる方がおられることも心配されるものですから、そのような方を除外するため支給要綱を定め、最初の面談や相談のときに十分な確認を取ることとしております。

泉委員

関連して伺いますが、申請件数が少ないのは、恐らく防災危機管理部にそのような窓口があることを知らない人が結構多いからだと思うのです。例えば、こども家庭部の窓口で相談があったときに、生活安全交通課にこのような制度があることを知らせるといった連携はできているのですか。

生活安全交通課長 今現在、生活安全交通課が富山市における犯罪被害者の総合窓口になっておりますので、犯罪被害者の件で相談があれば、恐らくこちらに回ってくるかと思えます。  
何よりも、この制度につきましては、警察やとやま被害者支援センターという犯罪被害者に対する県で唯一の相談窓口の職員も十分把握しておりますので、その中で紹介されるものと考えております。

分科会長 次に、議案説明資料8ページについて質疑はありますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第1号中防災危機管理部所管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。  
以上で、総務文教分科会防災危機管理部所管分を終了いたします。

午後 1時35分 休憩

~~~~~

午後 1時38分 再開

分科会長 これより、総務文教分科会教育委員会所管分の議案の審査を行います。  
議案第1号 令和7年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算中、歳出第10款教育費、第2条継続費中、第10款教育費、第3条債務負担行為中、教育委員会所管分を議題といたします。

これより、順次、当局の説明を求めます。

教育委員会事務局長〔挨拶〕

教育委員会事務局次長〔教育委員会所管分の概要について、  
(総務・社会教育・議案説明資料により説明)  
学校教育担当)

教育総務課長〔議案第1号中  
学びの多様化学校事業費について、  
議案説明資料により説明〕

学校再編推進課長〔議案第1号中  
スクールバス運行等事業費について、  
統合校の新設事業費について、  
議案説明資料により説明〕

学校施設課長〔議案第1号中  
学校建設費について、  
議案書及び議案説明資料により説明〕

学校教育課長〔議案第1号中  
校内サポートルーム設置事業費について、  
部活動指導員配置事業費について、  
民間プール施設活用事業費について、  
写真を活用した授業実施事業費について、  
議案説明資料により説明〕

学校保健課長〔議案第1号中  
子育て世帯に対する学校給食費の負担軽減について、  
議案説明資料により説明〕

生涯学習課長〔議案第1号中  
公民館建設事業費について、  
議案書及び議案説明資料により説明〕

科学博物館長〔議案第1号中  
科学博物館整備事業費について、

議案説明資料により説明]

教育センター所長 [議案第1号中  
児童生徒用端末借上料に係る債務負担行為について、  
議案書により説明]

分科会長 これより、質疑に入ります。  
議案説明資料の順に進めたいと思います。  
まず、議案説明資料1ページについて質疑はありませんか。

[発言する者なし]

分科会長 次に、議案説明資料2ページについて質疑はありませんか。

金岡委員 学びの多様化学校事業費について、この予算の具体的な使い方を教えてください。

教育総務課長 まず、不登校児童・生徒の特性に合わせ、例えば個別学習用のパーティションや相談室用のテーブルチェアセットなどを購入するための備品購入費として600万円、入学希望者への説明会の開催や、説明会のための資料作成等の委託料として200万円、学びの多様化学校の指定を受けるために、文部科学省へ出向き、特別な教育課程の編成等について打合せをするための旅費として23万円余り等となっています。

赤星委員 学びの多様化学校の運営自体にどれぐらいの費用がかかるのでしょうか。

教育総務課長 本市では初めて学びの多様化学校を設置しますので、現在の通常の学校運営からの見込みでの計算になりますが、小学校費、中学校費のうち、いわゆる施設整備費を抜いた額を学校数でならしますと、小・中学校いずれも、1校当たり大体6,000万円から7,000万円ほどの運営費がかかっております。

学びの多様化学校は、ある程度小規模の学校になるため、それよりも小さい額になると考えていることから、5,000万円ぐらいではないかと推測しております。

赤星委員

学びの多様化学校の設置場所に浜黒崎小学校跡地を選んだ理由の1つに、ライトレールの駅や駅からのフィーダーバスがあることを挙げておられましたけれども、市内全域から通うことを考えると、場所的に遠いのです。

私の住んでいる地域の近くにも不登校のお子さんが2人いらっしゃるお母さんがおられるのですが、浜黒崎地区まではちょっと通えないとおっしゃってまして、例えば、送迎バスを出すとか、今後どこかにもう1か所学びの多様化学校を造るなどというお考えはないのでしょうか。

教育総務課長

幾つか質問があったかと思えます。

まず、場所が遠いのではないかという質問につきましては、市としては、いろいろな教育課程を柔軟に実施できることから、学校型がふさわしいだろうと考えました。学校型の中から既存の施設を活用することを考えますと、選択肢としては統合が進んでいる郊外部の学校が多くなりました。具体的には浜黒崎小学校のほか、樫尾小学校や水橋地区の学校など、中心部からはある程度離れた場所になります。その中で、児童・生徒の交通手段を一定程度確保しなければいけないだろうということで、候補として出てきたのが浜黒崎小学校でした。

あとは、校舎も新しく改修に費用がかからないことや、喫緊の課題である不登校対策として令和8年度からすぐに使えるといったことから、浜黒崎小学校が一番適切な場所だろうということで選定しました。もう1つ、送迎バスを出せないのかという質問でありますけれども、仮に富山駅から送迎バスを出すとすると、どうしても片道30分ぐらいは見込んでおく必要があり、どれだけ早くても往復で1時間に1本という形になるかと思えます。

一方、フィーダーバスは追加の費用なしで既存のインフラを使うことができ、また、30分置きに走行しておりますので、送迎バスよりもはるかに利便性がいいと言えるのではないかと考えております。

赤星委員 公共交通を使うとなりますと、交通費の補助などは考えておられるのでしょうか。

教育総務課長 現時点では、他の学校同様、そのような補助は考えておりません。

分科会長 次に、議案説明資料3ページについて質疑はありませんか。

赤星委員 スクールバスの運転手をどのように確保されたのでしょうか。

学校再編推進課長 車両の維持管理も含めた運行業務委託の入札を行い、業者が決まっております。

赤星委員 その業者というのは、富山地方鉄道株式会社のような交通事業者ですか。

学校再編推進課長 そういった交通事業者ではなく、コミュニティバスの運行の実績がある業者に決まっております。

赤星委員 水橋学園、浜黒崎小学校、音川小学校の全部で決まっているのですか。

学校再編推進課長 今のところ決定しているのは、水橋学園と浜黒崎小学校の分だけでございます。

分科会長 次に、議案説明資料4ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料5ページについて質疑はありま

せんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料6ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員 校内サポートルームの状況を各学校等で共有できる仕組みをつくっていきたいということを本会議で答弁されたと思うのですが、具体的にどのような形で共有を図っていくのかお答えください。

学校教育課長 委員お尋ねの件につきまして、市教育委員会では、クラウド上で市内全学校・園が記入、閲覧できるスプレッドシート―エクセルのシートのようなもの―を作成しました。各学校・園は、経営・運営上の独自の工夫等を書き込むとともに、スプレッドシートを見て参考にしたい工夫等があれば、その詳細について、学校間で連絡を取り合うような仕組みとなっており、各学校・園に対し、本年2月にその運用について周知を図ったところであります。  
市教育委員会といたしましては、4月に実施する副園長、教頭、教務主任研修会やその他の研修会で活用することに加え、クラウド上のスプレッドシート内で質問があった内容について、半年に1回程度の頻度で集約し、市内の学校・園にお知らせするなど、本市のスケールメリットを生かした取組を進めていきたいと考えております。  
なお、現時点において、既にスプレッドシート上に独自の取組を記載している学校もあり、学校間での共有が始まっております。

鋪田委員 その仕組みというのは、もともとそれぞれの学校の教育に関する取組などの情報を共有していたものに加え、校内サポートルームに関する情報も共有していくということでしょうか。

学校教育課長 委員御指摘のとおり、人材の確保や学校運営上の工

夫など、幾つかの項目に分けて情報を上げて、詳細については、学校間でお互いに質問し合って情報共有していくものです。その中に校内サポートルームの活用に関する項目も入っているということでございます。

分科会長 次に、議案説明資料7ページについて質疑はありませんか。

金岡委員 (2)事業目的に教職員の負担軽減を図るとあるのですけれども、どれくらいの負担が軽減されるのか、具体的に教えてもらえますか。

学校教育課長 教員が顧問として指導に当たる時間を平日では1週間当たり最大4時間削減することが可能となり、授業の準備や教材研究のほか、生徒と向き合う時間、生徒会や委員会活動などの時間の確保につながっております。

また、休日では1日削減することが可能になります。もともと本市では、部活動は休日に1日だけ実施できるという基本的なガイドラインを定めておりますが、部活動において教員が指導しないことも大きな負担軽減につながっております。

加えて、経験のない部活動を指導する教員の精神的な負担軽減にもつながるとともに、部活動の指導体制の充実も図られているものと考えております。

鋪田委員 謝金などについては、どのように設定されているのでしょうか。

学校教育課長 部活動指導員は会計年度任用職員として雇用しております。賃金単価は、職員課が毎年度定める会計年度任用職員報酬単価表に基づき設定しております。例えば、配置1年目の指導員については時給が1,527円となっております。

分科会長 次に、議案説明資料8ページについて質疑はありませんか。

- 泉委員 45万円の予算額の内訳について教えてください。
- 学校教育課長 2時限分の水泳授業を2学年合同で5回程度行うため、近隣の民間プールを利用する委託をしております。45万円の内訳については、プールの使用料とバスでの送迎に係る費用であり、指導などは教員が行うものとなっております。
- 泉委員 ちなみに、上滝中学校にあるのは25メートルプールだったと思うのですが、水道料金やプール監視員の人件費、塩素などの費用を合わせると、プールを利用するシーズンにかかる費用は通常幾らぐらいになりますか。
- 教育委員会事務局長 申し訳ないのですが、例えば塩素などは学校保健課の予算を使っていますし、水道料金は教育総務課で一括して支払っておりますので、今すぐにはお答えできないと思います。ただ、数字を算出することはできます。
- 泉委員 私が言いたいのは、通常の小学校のプールですと、やっぱり夏休み期間中の利用に制限があると思うのです。うろ覚えですが、25メートルプールを満杯にするのに数十万円かかり、またプールを二、三回洗浄するとすぐに100万円ぐらいの費用がかかると思います。そこで、学校のプールを使用する場合に必要な予算からこの事業費の45万円を引いて残った金額にある程度の余裕があるならば、夏休み期間中、例えば毎週何曜日の何時から何時までは常願寺ハイツのプールで泳げるというふうにしていただきたいという要望です。検討いただけますよう、よろしくお願いいたします。
- 分科会長 次に、議案説明資料9ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料10ページについて質疑はありませんか。

赤星委員 令和6年度は5,000円を補助していたものを、令和7年度は1万円に増額するということでもあります。  
物価の上がり方については本当にひどいものがあり、以前はちょっと量を減らしたり、梨を6分の1カットではなく8分の1カットにして出したりと、現場では大変御苦労されていて、かわいそうなお話も聞きましたけれども、最近のさらなる物価上昇によって、ほかにもそういった工夫をされているのでしょうか。

学校保健課長 多少なりとも工夫はさせていただいています。  
例えば、同じ栄養価のものでも少し安めの野菜を使ったり、そのときの旬の野菜をより多く使って予算を抑えたりするなどの工夫をさせていただいております。

赤星委員 おコメの値上がりがものすごくひどいのですけれども、給食費にどれぐらい影響が出ているのでしょうか。

学校保健課長 値上げに至った部分については、後ほど委員会で御説明させていただいてもよろしいでしょうか。

分科会長 では、委員会で御説明願います。  
次に、議案説明資料11ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料12ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員 事業の工期と、また、エントランス展示の更新を行うということで、休館する必要があるのかないのか

や、一定の制限がかかるのかどうか、お答えください。

科学博物館長 工期は約10か月を見込んでおりますが、現場で実際に行う工事は、令和7年12月ぐらいから令和8年3月ぐらいの大体4か月かかるという計画です。この間、改修部分を大規模に仮囲いして、2階と3階のプラネタリウムは見られるようにしますが、大規模な工事を行うときだけ全館休館を予定しております。大規模工事には1週間ほどかかる予定で、展示品のメンテナンスのために全館休館する日に合わせて工事を行うことで極力休館日をなくし、皆さんの動線を確認して展示を続けたいと思っております。

分科会長 次に、児童生徒用端末借上料に係る債務負担行為について質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ほかの部分で質疑はありませんか。

赤星委員 令和7年度予算案主要事業説明の3ページをお願いします。  
下から2番目の22番、学校保健事務費（学校給食センター等再編整備計画策定事業費）について、給食提供体制の在り方と持続可能な給食調理場の再編整備を検討しており、令和6年度の富山市学校給食センター等給食調理場のあり方検討調査等を踏まえ、今後の富山市の学校給食における基本方針を策定するとありますが、この検討調査の内容と成果について御報告をお願いします。

学校保健課長 こちらにつきましては、今年度、建設や分析などを行うコンサルタント業者と契約いたしまして、現地調査や、学校給食に関わる単独調理場、学校給食センターに関する各種データを分析・整理して、先進地視察なども行った上で在り方などを検討し、今年度末に調査報告をまとめるというところで、現在、

課題の整理を行っています。  
ただ、今年度の調査を進める中で、単独調理場や学校給食センターの今後の方向性を考えていくために、追加の調査が必要となってまいりました。  
具体的には、南学校給食センターの改修期間中の給食提供をどうするのかということであり、ソフト、ハードの両面からモデルパターンをつくって精査、比較して、どのような形がいいのかについて追加調査を行う必要が出てまいりました。そういった追加調査や分析を行った上で、次年度、本市の学校給食調理場の在り方、方針をお示しできればと考えております。

赤星委員 先進地視察ではどこへ行って、どのような成果があったのでしょうか。

学校保健課長 視察につきましては、東京都八王子市、東京都練馬区、東京都立川市、千葉県柏市に行つてまいりました。  
このうち八王子市と立川市につきましては、最近、学校給食センターを整備している自治体です。八王子市については現在はずもとと中学校に給食をデリバリーしていたところ、学校給食センターを整備しているという点、立川市についてはPFIで学校給食センターを整備した点、練馬区については学校給食センターを自校調理に変えているという点、千葉県柏市については自校調理場と学校給食センターの両方を持っているのですが、本市と同じように、在り方などを検討しており、どのような工夫や苦勞があるのか、また、どのような給食を出しているのかという点について、担当職員が視察してまいりました。  
その内容を今後の調査報告に反映させていければと考えております。

赤星委員 詳しい調査報告を楽しみにしております。  
同じく主要事業説明書の2ページの下から2番目、13番の児童生徒指導対策事業費（スクールソーシ

ャルワーカー配置事業費)については、金額が前年度からほぼ変わっておりませんが、新年度は増員なしということですか。

学校教育課長 増員はありません。

赤星委員 サポートが必要なお子さんが増えているということで、増員を期待していたのですけれども、今後は増員を検討されるのでしょうか。

学校教育課長 一つ一つの学校を支援する人的な資源については、ほかにもいろいろな部分で予算に計上させていただいておりますので、バランスを勘案しながら検討させていただきたいと考えております。

赤星委員 次のページの15番、スクールサポーター配置事業費は2,000万円余り増額になっています。これはどれぐらい人数を増やされるのでしょうか。

学校教育課長 人数は増えておりません。報酬単価等の増や、また、会計年度任用職員の方は勤続年数が増えると単価も上がっていきますので、そういったものに係る経費の増となっております。

分科会長 ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第1号中教育委員会所管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。  
以上で、総務文教分科会教育委員会所管分を終了い

たします。

午後 2時23分 休憩

~~~~~

午後 3時00分 再開

分科会長      これより、総務文教分科会財務部・出納課所管分及び歳入等の議案の審査を行います。  
議案第1号 令和7年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算中、歳入全部、歳出第2款総務費中、財務部及び出納課所管分、第4款衛生費中、財務部所管分、第7款商工費中、財務部所管分、第8款土木費中、財務部所管分、第12款公債費、第13款予備費、第3条債務負担行為中、財務部所管分、第4条地方債、第5条一時借入金、第6条歳出予算の流用、  
議案第2号 令和7年度富山市公債管理特別会計予算、  
議案第3号 令和7年度富山市駐車場事業特別会計予算、  
以上3件を一括議題といたします。  
これより、順次、当局の説明を求めます。

財務部長      〔挨拶〕

財務部次長    〔財務部・出納課所管分の概要について、議案説明資料により説明〕

資産税課長    〔議案第1号中  
土地評価事務費について、  
議案説明資料により説明〕

財政課長      〔議案第1号中  
歳入・地方債・一時借入金・流用について、  
議案第2号について、  
議案書及び議案概要書により説明〕

管財課長      〔議案第3号について、  
議案概要書により説明〕

分科会長      これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

泉委員          来年度の予算総額でびっくりしたのが、今まで大体年間1,700億円くらいだったのが、来年度は1,900億円余りと、もう2,000億円に近い金額になっています。  
予算の内容を聞きますと、オーバード・ホールの改修など、建設関係の事業が大きく影響しているところだと思います。  
個人的な感覚ですけれども、建設関係のいろいろな費用を8年前と比べると、今はほぼ2倍に上がっています。土木もそうですが、建物を建てる時もほぼ2倍の金額になっています。これは私たちが心配することではないのかもしれませんが、扶助費も上がっています。それから土木費についても、結局案件をこなそうとすると今までの倍以上かかってくる。  
税収は若干増えているのですが、今後このような物価高からいろいろなものの費用が上がり、このままのペースでいくと、5年後か10年後か分かりませんが、財政的には悪い状態になっていくのでしょうか。それとも税収の増がそれを補完して、今と大体同じぐらいの状態を維持できる感覚なのか、その辺、ちょっと教えていただけますか。

財政課長      今、泉委員がおっしゃいましたとおり、これまでもやはり計画の山というものがございまして、例えば前回の山は、富山霊園富山市斎場を新しくしたときや八尾中学校を統合したとき、あとはオーバード・ホール中ホール—これは令和3年、令和4年頃に建てたものですが、借金は3年間元金据置きで、利子だけを支払い、4年目から元金の支払いも始まりますので、それが今年度の大きな山となっています。また、来年度当初予算のうち水橋学園などの大型事

業の起債についても、3年間元金据置きの利子だけの支払いとなっており、4年後から大きな山がずっと続いていくという形になります。

今は好調な市税収入に支えられていますが、大きな山を見越し、財政運営として、借換債を一普通でしたら1回返してもう1回借りるのですけれども、返しっ放しにすることで、10年間で1億1,000万円余りの負担を軽減するなど、できる限りのことはすると。

また、基金につきましても、財政調整基金や借金を返済する減債基金を一定程度確保しながら一令和7年度当初予算では財政調整基金を崩さずに済んだのですが一財政運営を行っていきたいと思います。

なお、泉委員がおっしゃったいろいろな数値につきましては、高い水準で推移していくものと見込んでおります。

泉委員 分かりました。ありがとうございます。

分科会長 ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。

これより、議案第1号中財務部及び出納課所管分並びに歳入全部及び地方債、一時借入金、歳出予算の流用、議案第2号、議案第3号、以上3件を一括して意見の表明を行います。

意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。

以上で、総務文教分科会財務部及び出納課所管分並びに歳入等の議案の審査を終了いたします。

これで、3月定例会の当分科会に送付されました全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

分科会長報告については、正・副分科会長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長

それでは、そのように取り計らいます。  
これをもって、令和7年3月定例会の予算決算委員  
会総務文教分科会を閉会いたします。

令和7年3月定例会  
予算決算委員会総務文教分科会記録署名

分科会長 松 井 邦 人

署名委員 金 岡 貴 裕

署名委員 飯 山 勝 彦